

# あなたの力をまちづくりへ

社会の変化に伴い、多様化する地域の様々な課題を解決していくためには、市民と行政が一体となって「協働のまちづくり」を進めることが重要です。

本特集では、本市の協働提案制度補助金を活用して地域課題の解決に取り組む団体の活動を紹介します。ここでは、2つの団体に活動内容や活動への思い、今後の意気込みなどをお聞きしました。

■問合せ／地域振興課地域振興担当

## interview

### やまがた学生情報局

#### 地域と学生をつなぐ



代表 にへいともたか 二瓶 友岳さん  
(山形大学工学部4年生)

「もっと地域と学生の交流を推進したい」。そんな思いからウェブサイトを開設し、学生向けの情報を発信しているのが、「やまがた学生情報局」です。県内の大学生など約30人で構成され、取材から記事の編集まで全てを担い、学生目線で山形や米沢の魅力を発信しています。「県内でも、米沢には素敵な場所がたくさんありますが、多くの大学生は知らずに卒業してしまいます。学生が地域に足を運び、地域と交流できるように情報を発信しています」と代表の二瓶友岳さんは話します。東京出身の二瓶さんは、活動を続けていくうちにさらに米沢の魅力に気づき、地域と学生をつな

ぎたいという思いが強くなったと言います。サイトの運営では、飲食店や観光地の紹介、地域のお祭りのレポートなど、1日1投稿を欠かしません。さらに、市内事業者と提携して学生向けのサービスを行うなど、地域と学生のためになるような活動を展開しています。今後の意気込みを伺うと、「山形に関わる学生が、必要な時に必要な情報を取得できるようにすることが私たちの役目です。地域と学生が交流し、一緒にまちづくりを進めることで、米沢市の活性化につながるよう、今後も活動を継続していきたいです」と話しました。

#### CHECK!

やまがた学生情報局  
ウェブサイト



食、文化、歴史など、学生向けに米沢の魅力を発信しています。ツイッター・インスタグラムもぜひチェックしてみてください！



取材の様子(8月17日火) ㈱米沢食肉公社にて

## 「協働のまちづくり」とは？

市民と行政が協力関係を築きながら、より良いまちを目指してともに活動を行っていくことです。お互いの長所を活かし、それぞれが役割分担をして地域の様々な課題に取り組みます。

## 「協働提案制度補助金」とは？

公益的な活動を行う団体が、地域づくりや地域課題の解決に向けて市民を対象に行う事業に補助金を交付します。さらに、市の関係する課が事業成功に向けて支援を行います。

補助金の交付は平成26年度からスタートし、これまでに44事業が採択されました。市民のため、そして米沢市の未来のために自主的に活動する人を応援し、今後も事業を継続していけるよう、市が全力でサポートします。

■募集時期／例年3月下旬～4月上旬※募集の際は、広報や市ホームページで告知します。

詳細は、市ホームページをご確認ください。

※右のQRコードを読み取るか、「米沢市 協働」で検索してください。

—協働—



地域振興課地域振興担当  
高橋 明

## interview

### 東町ポスト



代表 佐野 洋平さん

(ウコギ社 (社) 理事  
佐野水産(株) 専務取締役  
株ゆきんこ 取締役副社長)

### 「考える場所」を東町に

全国的にも深刻な問題になっている空き家問題。東町ポストでは、その解決策の一つとして、空き家となっている旧東町郵便局(本町3丁目)を私設図書館にリノベーションし、本を中心としたコミュニティを創出し、活動に励んでいます。

「私は、つながりを得る媒体として本を大切にしており、本を通じて文化や芸術に触れる場を提供したいと考えていました。旧東町郵便局周辺をまちづくりの拠点として、どのようなエリアにしていくかを関係メンバーと話し合っていたこともあり、チームとして活動していくことになりました」と話すのは代表の佐野洋平さんです。

東町ポストのメンバーのほか、グローバルに活躍する建築家や芸術家の方にも関わっていただきながら構想を練り、図書館の開館を目指しています。

活動について佐野さんは、「東町町内会をはじめ、市民の方にも図書館づくりから主体的に参加してもらいます。そして、開館後は学生や社会人が学ぶ場所として、文化や芸術に関する講座や勉強会を企画し、みんな『考える場所』を作っていきたいです」と話します。

最後に、「興味を持った方は気軽に足を運んでください。一緒に東町を楽しいまちにしていきたい」と力強いメッセージをいただきました。



◀▲空き家(旧東町郵便局)での打合せの様子



東町ポスト関係者の皆さん(視察先にて)

## 令和3年度米沢市協働提案制度 補助金採択事業の紹介

令和3年度は8つの事業が提案され、そのうち5つの事業が採択されました。地域の課題と向き合い、解決に向けて工夫を凝らした各事業を紹介します。

### 東町ポスト

#### 「東町ポスト」プロジェクト ～空き家利活用による図書館型コミュニティの創出～

▶補助金交付額：500,000円

##### ▶活動概要

空き家となっている旧東町郵便局を自主運営型の私設図書館「東町ポスト」にリノベーションし、空き家問題の一つの解決策を提案します。

事業1年目となる今年度は、市民から参加希望者を募って建物をDIYし、図書館としての開館を目指します。本を通じた交流、学びの場として提供するほか、将来的には文化・芸術活動を発信できる場としての活用も考えています。まちなかの賑わい創出と、文化的なコミュニティの形成が期待されます。

### ざいご太郎塾開校プロジェクト

#### ざいご太郎塾「草木塔って知ってる？」 親子森の工作教室

▶補助金交付額：400,000円

##### ▶活動概要

昔ながらの生活の知恵や文化など、隠れた観光資源を発掘し、「体験型観光」という新しい切り口を広めていく活動を行っています。また、地元の名人たちをワークショップの講師として起用するなど、高齢者の活躍の場を作り、先人たちの財産を次世代へ継承していくことも目的としています。

補助金の事業としては、7月31日(土)、8月1日(日)に「親子森の工作教室」を開催しました。地元の小学生と保護者約40人が参加し、田沢地区に遺された草木塔について学んだ後、森に落ちていた枝や葉など自然の材料を使って工作を行い楽しみました。

### 伊達三日月街道活性化協議会

#### 伊達三日月街道活性化事業

▶補助金交付額：166,000円

##### ▶活動概要

米沢市から仙台市までの道のりで伊達家ゆかりの地を結んだ“伊達三日月街道”を軸に、各地域のお店や旧跡などを紹介するクーポン付きマップを作成・配布することで、街道地域の活性化と知名度の向上を目指します。

昨年度は赤芝・館山地区で事業を実施し、今年度は広幡・六郷地区が対象となります。今後は街道の終着点である仙台城まで順次事業範囲を広げていく予定で、「伊達」でつながる地域の魅力を長く発信していきます。

### 特定非営利活動法人 自然農食やまがたよもぎの会

#### 居場所づくりプロジェクト

▶補助金交付額：474,000円

##### ▶活動概要

「よもぎ荘」(大字下新田字平八1751)というフリースペースを用意して、季節に合わせたイベントや趣味の大会(将棋・囲碁・麻雀など)を開催し、高齢者がいつでも気軽に立ち寄れる場を作ります。

また、有機野菜の栽培、子どもたちとの交流など、幅広い体験を行う機会を提供し、高齢者一人一人がいきいきと暮らせるコミュニティを目指して、活動を行っています。

### やまがた学生情報局

#### 学生向けウェブメディアでの米沢の 魅力発信事業

▶補助金交付額：400,000円

##### ▶活動概要

山形県の学生たちが、山形県の学生のために情報を発信しているウェブメディア「やまがた学生情報局」を活用し、米沢市の食・文化・歴史などを取材して、学生向けの記事として情報を発信していく事業です。

市内の事業者とコラボレーションした記事の掲載やタイアップキャンペーンを企画し、地域と学生の交流促進を図るなど、米沢のことをさらに好きになってもらえるような活動を展開します。